

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	当科における脳動脈瘤に対する血管内治療の成績、再発様式の後方視的検討
②対象者及び対象期間	
対象者：2002年1月から2029年3月までに脳動脈瘤に対して当科で血管内手術を受けた患者	
③概要	脳動脈瘤に対する治療は、大きく別けて直達術（クリッピング術）と血管内治療（脳動脈瘤コイル塞栓術）とに別けられる。脳動脈瘤コイル塞栓術の長期成績は報告が限られており、不明な点が多い。また、クリッピング術と比較して再治療率の高さが課題として挙げられている。
④申請番号	2019-0182
⑤研究の目的・意義	脳動脈瘤に対するコイル塞栓術後の長期成績と再発に関して、その規定因子を含め、後方視的に検討するため。また、血管内治療が未だ確立されていない脳主幹動脈遠位部の動脈瘤や仮性動脈瘤についても、当施設で行った血管内治療の成績とその特徴について検討すること。
⑥研究期間	倫理委員会にて承認された日にちから2029年3月末まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	電子カルテに保存されている病歴及び画像を利用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	病歴（年齢、性別、既往歴、生活歴、血管内手術法（脳動脈瘤塞栓術：コイルのみ、バルーン併用、ステント併用、flow diverter 留置術、WEB 留置術、母血管閉塞術など）、周術期合併症の有無、破裂例では重症度、入院時及び退院時の予後（mRS））及び画像（動脈瘤の大きさ、形状、場所、blebの有無、治療後の塞栓状態、再発の有無）
⑨利用の範囲	新潟大学 脳研究所 脳神経外科
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学 脳研究所 脳神経外科 助教 鈴木 倫明
⑪お問い合わせ先	脳神経外科医局

025-227-0653

shindainougeka@bri.niigata-u.ac.jp